

ヤマダ電機グループのヤマダホームズ（高崎市栄町、増田文彦社長）はこのほど、オリジナルの空気質改善システム「ウェルネスエア」に、スギ花粉の低減効果が確認されたと発表した。

同社ではウェルネスエアの評価実験を、花粉研究者の埼玉大学大学院・理工学研究科の王青躍（おうせいよう）教授に依頼。その結果、王教授は、ウェルネスエアを構成する素材の表面特性の細孔（多孔質材料が持つ微細な空孔）面積分布など、分子レベルの解析結果から、スギ花粉の低減効果を確認した。

ウェルネスエアは高品質木炭塗料にマイナスイオンを通電させることで、室内の空気を

きれいにするもの。石こうボードなどの下地と壁紙の間に入れ

スギ花粉の低減効果を確認

ヤマダホームズの「ウェルネスエア」

る。通電には空気イオン改善装置を使用するため、におい、化学物



壁と天井のクロスの上にウェルネスエアを設置した部屋

質、湿度、電磁波、ハウスダストなども低減させ、室内空気環境を快適にする。

同社では、「癒しと健康」をテーマに、心地よい空間づくりや健康維持増進に関するさまざまな研究開発を行っている。

同社技術本部設計統括部兼女性活躍推進チ

ームリーダーの安部文子さんは「住まいといふ『空間』において、年々増す花粉症のつらさを軽減できるよう、今後も評価、改善を続けていきたい。美しい空気と免疫力向上で、健康増進をサポートする住まいづくりに尽力していきたい」と話している。